

報道関係各位
企画展のご案内

高志の国文学館
KOSHINGOKU
Museum of Literature

池波正太郎展

人間通のまなざし

2025
3.29(土)
-6.9(月)

開館時間／9:30～18:00(観覧受付は17:30まで)※3月29日(土)は10:40開場
休館日／毎週火曜日(ただし4月29日、5月6日は開館)、4月30日(水)、5月7日(水)
観覧料／一般400円(320円)、大学生200円(160円)、前売り・一般320円
(裏面をご覧ください)
※()内は20人以上の団体料金。企画展観覧券で常設展もご覧いただけます。
※次の方は、常設展・企画展ともに無料で観覧できます。小・中・高校生及びこれに準ずる方、各種障害者手帳をお持ちの方。

主催／高志の国文学館 共催／北日本新聞社、富山テレビ放送 監修／鶴松房治氏(池波正太郎記念文庫指導員)
特別協力／池波正太郎記念文庫、池波正太郎ふれあい館、株式会社オフィス池波

但馬「書撮影事案にて」(富山県立美術館蔵)

展覧会チラシ

広報に関するお問い合わせ：高志の国文学館 事業課 今村・綿引
〒930-0095 富山県富山市舟橋南町 2-22 TEL 076-431-5492 / FAX 076-431-5490

Summary

没後 35 年の今、北陸初の本格的な企画展を富山で開催

『鬼平犯科帳』『剣客商売』『仕掛人・藤枝梅安』『真田太平記』などの人気シリーズを生み出した作家・池波正太郎（1923～1990）。ドラマ化・映画化・アニメ化によってファン層の裾野を広げたその作品は、没後 35 年を迎える現在も、多くの読者に読み継がれています。

東京浅草で生まれ育ち、劇作家として出発した池波の時代小説には、江戸の町を彷彿とさせるような情緒があり、登場人物たちが営む日々の暮らしの風景に、季節感漂う料理が彩りを添えています。また、善悪両面を併せ持つ、矛盾に満ちた「人間」という存在を深く見つめ、独自の造語や文体により、登場人物たちが織り成すドラマを描き出しているところに、色あせない魅力があります。

本展では、池波正太郎記念文庫、池波正太郎ふれあい館の特別協力を得て、新しい時代小説の世界を切り開いた池波作品の魅力と創作の舞台裏について、貴重な自筆資料や創作資料、挿絵原画等により掘り下げます。あわせて、小説と並んで人気の高い、食、映画、旅などについて語ったエッセイや、晩年趣味とした絵画の世界、父方の先祖の出身地である越中井波の人々との交流など、作家の横顔についてもご紹介します。

Profile

池波正太郎 IKENAMI Shotaro (1923～1990)

大正 12 年（1923）1 月 25 日、東京・浅草に生まれる。下谷・西町小学校卒業後、株式仲買店に勤務。この間、演劇・映画・読書などに親しむ。その後海軍に入隊し、鳥取県米子で敗戦を迎える。

戦後は東京都職員として勤務するかたわら戯曲を執筆し、新聞社主催の演劇文化賞に入選。これを機に長谷川伸に師事し、劇作家として活動を始め、小説も書き始める。時代小説・歴史小説を執筆の中心とし、昭和 35 年（1960）、『錯乱』により直木賞を受賞。その後は『鬼平犯科帳』『剣客商売』『仕掛人・藤枝梅安』『真田太平記』など、数々の人気作品を発表。このほか、映画、食、旅などに関する多くのエッセイや現代小説も著している。昭和 52 年（1977）には吉川英治文学賞、昭和 63 年（1988）には菊池寛賞を受賞。

また、父方の先祖が井波の宮大工で、天保年間に江戸へ移り住んだことがわかった縁で、何度も井波を訪れ、池波が遺した直筆の書や原稿、地元関係者に送った手紙などが「池波正太郎ふれあい館」で現在も展示されている。

平成 2 年（1990）5 月 3 日、急性白血病により 67 歳で死去。

Outline

展覧会名	池波正太郎展一人間通のまなざし
会 期	2025 年（令和 7 年）3 月 29 日（土）～6 月 9 日（月）
会 場	高志の国文学館 〒930-0095 富山県富山市舟橋南町 2-22
開館時間	9：30～18：00（観覧受付は 17：30 まで）※3 月 29 日（土）は 10:40 開場
休 館 日	毎週火曜日（ただし 4 月 29 日、5 月 6 日は開館）、4 月 30 日（水）、5 月 7 日（水）
観 覧 料	一般 400 円（320 円）、大学生 200 円（160 円）、前売り・一般 320 円 ※（ ）内は 20 人以上の団体料金。企画展観覧券で常設展もご覧いただけます ※児童・生徒（小・中学生、高校生など）、各種障害者手帳をお持ちの方は無料
主 催	高志の国文学館
共 催	北日本新聞社、富山テレビ放送
協 力	池波正太郎記念文庫、池波正太郎ふれあい館、株式会社オフィス池波
展覧会担当	高志の国文学館 事業課 係長 綿引 香織（わたひき かおり）

Theme

導入展示

池波正太郎原作の映画『仕掛人・藤枝梅安』、テレビ・映画『鬼平犯科帳』の予告映像を上映し、江戸の情緒と作品世界の一端を伝えます。また、富山いずみ高等学校書道部が書道パフォーマンス（プレイベント）により揮毫した作品を展示し、若い世代にも響く池波正太郎の言葉を紹介。あわせて、池波作品に登場する料理について、作品の引用とともにパネルで紹介します。

第1章 池波正太郎の歩み—ゆかりの地、人

年譜や写真、資料、自伝的エッセイ等をもとに、池波正太郎の生涯と文学活動の始まり、劇作家から出発し人気作家となるまでの歩みを紹介합니다。

第2章 作品世界—時代小説の金字塔

代表作『鬼平犯科帳』『剣客商売』『仕掛人・藤枝梅安』を中心に、時代小説の作品世界とその背景を、原稿や執筆関連資料、初出誌、初版本、挿絵原画等により紹介します。また、映像化された作品の台本やパンフレットも展示します。数々の作品を生み出した書斎の写真や蔵書、愛用品を展示し、作家の息づかいが感じられるコーナーを演出します。

第3章 エッセイと絵筆—作家の横顔

食、映画、旅などについて語ったエッセイと晩年趣味とした絵画を、池波正太郎が残した数々の言葉とあわせて展示します。また、井波の人々との心あたたまる交流の様子を写真や書簡、色紙、映像で紹介します。

Topics

1 数々の人気作品の魅力を原稿、挿絵、ポスターなどの資料により紹介

ドラマ化・映画化・アニメ化によって幅広いファンを獲得した人気作品の魅力を、多彩な資料により紹介します。あわせて、生涯に発表した著作の多さを実感できるよう、一面に並べて展示するコーナーも設けます。

2 池波正太郎のひととなりが見える井波の人々との交流を紹介

父方の先祖の出身地である越中井波の人々との心あたたまる交流の様子がわかる写真、映像、書簡などを展示します。関連イベントでは、実際に交流のあった方にお話していただきます。

3 作品を生み出した書斎の雰囲気再現した展示

創作の現場が感じられる書斎の写真や愛用品、蔵書などを展示します。

4 池波正太郎ビギナーも楽しめる導入の展示

『仕掛人・藤枝梅安』、『鬼平犯科帳』の予告映像の上映、高校生による書道パフォーマンス作品の展示のほかに、池波正太郎の魅力をまとめた「はじめての池波正太郎」コーナー、池波作品に登場する料理について来館者が投票するコーナーを設けます。

Events

(1) 講演「作家・池波正太郎、人と作品」

[講師] 鶴松房治氏（池波正太郎記念文庫指導員）

[日時] 3月29日（土） 14:00～15:30

[会場] 当館 研修室 101

◎申込必要 ◎定員 100名 ◎参加無料

(2) 講演「群青色の暑中見舞」

[講師] 山本一力氏（作家）

[日時] 4月13日（日） 14:00～15:30

[会場] 当館 研修室 101

◎申込必要 ◎定員 100名 ◎参加無料

(3) トーク「井波での池波正太郎」

[講師] 大和秀夫氏（池波正太郎ふれあい館解説員）

[日時] 5月11日（日） 14:00～15:30

[会場] 当館 研修室 101

[内容] 親交のあった井波での池波正太郎の様子を語っていただいた後、担当学芸員とともにギャラリートークを行います。

◎申込必要 ◎定員 各 100名 ◎参加無料（ギャラリートーク参加の場合は要観覧券）

(4) 展示担当者によるギャラリートーク（展示解説）

[日時] 4月5日（土）、4月27日（日）、5月18日（日）、6月8日（日）
各回 14:00～（30分程度）

[会場] 当館 企画展示室

◎申込不要 ◎要観覧券

■申込方法

電話・FAX・WEB 申込フォームにて、イベント名（複数可）と氏名、電話番号を高志の国文学館までお知らせください。

※定員に達し次第、募集を終了します。

※FAXでのお申込みで、定員に達している場合のみ当館からご連絡いたします。



<https://shinsei.pref.toyama.lg.jp/SksJuminWeb/EntryForm?id=yXmIGYuq>

Highlight

■主な出品作品および資料

《第1章》

- ・写真「2歳の頃 父・富治郎と」 (★)
- ・池波正太郎「兄の帰還」(『婦人画報』1943年7月号掲載) (高志の国文学館蔵)
※「朗読文学」欄に投稿し入選した小説
- ・池波正太郎「鈍牛」台本 1951年 (★) ※新国劇での初上演作。
- ・池波正太郎「錯乱」(『オール讀物』1960年4月特大号掲載) (★)

《第2章》

- ・『寛政重修諸家譜』 (★) ※長谷川平蔵宣以の名前が掲載。
- ・池波正太郎「鬼平犯科帳一密偵たちの宴」原稿 1974年初出 (★)
- ・中一弥画「鬼平犯科帳一さむらい松五郎」挿絵 (★)
- ・池波正太郎「剣客商売一女武藝者」原稿 1972年初出 (★)
- ・舞台「剣客商売」ポスター (★)
※1975年6月公演。出演：中村又五郎、加藤剛ほか。会場：帝国劇場
- ・池波正太郎「仕掛人・藤枝梅安一梅安冬時雨」原稿 1990年初出 (★)
- ・映画「必殺仕掛人 春雪仕掛針」ポスター (★)
※1974年2月公開。監督：貞永方久、出演：緒形拳ほか。松竹。
- ・但馬一憲撮影「書齋にて」ほか 写真 (★)
- ・愛用の万年筆、パイプ、パステル ほか (オフィス池波蔵)

《第3章》

- ・池波正太郎画「長谷川平蔵市中見廻りの図」 (★)
- ・池波正太郎画「皇居の桜田濠」 (★)
- ・池波正太郎画「原っぱ風揚げ」 (★)
- ・池波正太郎「散歩のとき何か食べたくなくて一京にある江戸」原稿 1976年初出 (★)
- ・池波正太郎画「あまだい」 (★)
- ・池波正太郎画「昭和のシネマパレス」 (★)
- ・池波正太郎画「ニース」 (★)
- ・池波正太郎画「グラナダの落日」 (★)
- ・池波正太郎「越中・井波一わが先祖の地」原稿 昭和57年(1982)初出 (★)
- ・池波正太郎筆 大和秀夫氏宛封書 (池波正太郎ふれあい館蔵)
- ・池波正太郎画「井波の木彫り師の家」 (池波正太郎ふれあい館蔵)
- ・池波正太郎画「猫」色紙 (池波正太郎ふれあい館蔵)
- ・「芳名帳」 (東山荘蔵) ※昭和56年10月25日付の記名あり
- ・大和秀夫撮影「利賀の宿」「瑞泉寺」ほか 写真 (池波正太郎ふれあい館蔵)

など 資料総数 約460点
(★) はすべて池波正太郎記念文庫蔵

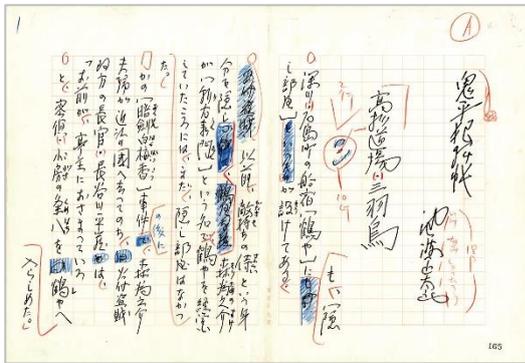
Images



1 但馬一憲氏撮影「池波正太郎」
(講談社提供)



2 『鬼平犯科帳』文藝春秋 1968年
装幀：玉井ヒロテル、題字：池波正太郎



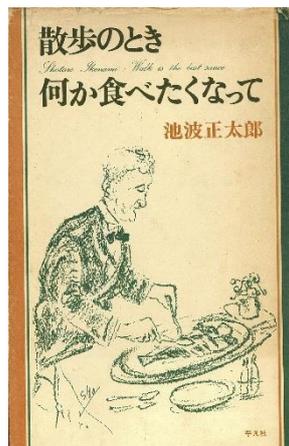
3 原稿「鬼平犯科帳—高杉道場・三羽鳥」
(池波正太郎記念文庫蔵)



4 絵画「ニース」(池波正太郎記念文庫蔵)



5 昭和56年10月、利賀の宿にて(大和秀夫氏撮影、池波正太郎ふれあい館提供)



6 『散歩のとき何か食べたくなって』平凡社 1977年
装画：池波正太郎



7 展覧会チラシ

「池波正太郎展一人間通のまなざし」 広報用画像貸出申請書

高志の国文学館事業課 広報担当 行
FAX 076-431-5490
E-mail akoshinokuni@pref.toyama.lg.jp

展覧会広報用の画像を貸出しております。ご希望の際は、下記の貸出条件をご確認のうえ、本書に必要事項をご記入いただき、FAX または E-mail にてお申込ください。E-mail の添付にて JPEG あるいは TIF データで画像をお送りいたします。

【広報用画像貸出条件】

- ◎画像は展覧会紹介の目的のみにてご使用ください。
- ◎画像に文字を重ねるレイアウトはお控えください。
- ◎画像データは、ご使用後かならず破棄してください。
- ◎画像データを第三者に渡すことを禁じます。
- ◎画像データをインターネット上で使用する際には、最新の保護手段を用いて複製作成等の行為を防いでください。

御社名 : _____

御担当者名 : _____

E-mail アドレス : _____

電話 : _____ FAX : _____

掲載誌名・番組名・Web サイト名 : _____

発行・放映・掲載予定日 : _____

申込画像（ご希望の画像をチェックしてください。）

- 画像 1 但馬一憲氏撮影「池波正太郎」（講談社提供）
- 画像 2 『鬼平犯科帳』文藝春秋 1968年 装幀：玉井ヒロテル、題字：池波正太郎
- 画像 3 原稿「鬼平犯科帳—高杉道場・三羽烏」（池波正太郎記念文庫蔵）
- 画像 4 絵画「ニース」（池波正太郎記念文庫蔵）
- 画像 5 昭和56年10月、利賀の宿にて（大和秀夫氏撮影、池波正太郎ふれあい館提供）
- 画像 6 『散歩のとき何か食べたくなって』平凡社 1977年 装画：池波正太郎
- 画像 7 展覧会チラシ